

〈演奏者略歴〉2023年10月時点

■ 武田 光史 Koji Takeda ピアニスト



神奈川県横浜市生。父は横浜市、母は南大東村出身。逗子開成高校卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科演奏芸術専攻ピアノ専修修了。第22回沖縄ピアノコンクールグランプリ受賞。ピアノを鈴木トヨミ、平塚久子、鹿目美智子、日比谷友妃子、渡辺健二、平井丈二郎、岩崎セツ子の各氏に師事。現在 Atlier みるく首里

(首里テラス)、はなみずき音楽院、沖縄県立開邦高校非常勤講師。2010年より毎年ピアノリサイタルを開催。2011年度(第46回)沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。2020・2021年度(第55回・56回)沖縄タイムス芸術選奨大賞受賞。日本歌唱芸術協会理事。

[予定]武田光史ピアノリサイタル11月23日(火)。シュガーホール。後援：日本歌唱芸術協会
問合せ:珈琲三昧ぼえむ八重瀬店 098-998-00

■ 仲村渠 悠子 Yuko Nakandakari ピアニスト



沖縄県出身。桐朋学園女子高等学校音楽科、同大学音楽学部、同研究科を最高点にて修了。ドイツデトモルト音楽大学首席卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。これまでに上地昇、大坪サイ、日比谷友妃子、高良芳枝、ミハル・ボスクレセンスキウゴルスキー、アンドラーシュ・シフらに師事。2003年にドイツに留学、卒業後は、

デトモルト音楽大学のコレペティトアとして後進の指導にあたる他、ドイツ国内、ギリシャ、韓国、中国にてオーケストラとの共演、室内楽、ソロの演活動を行う。通常のソロリサイタルにオリジナル曲を交え、観客から与えられるテーマをもとに即興演奏するという独自の演奏スタイルは、「Grosse Talent (大きな才能)」

「Yukos schöne Welt (悠子の美しい世界)」 「Meisterin der Tasten (鍵盤のマエストロ)」 等、ドイツ国内の新聞各社に取り上げられる。2015年6月には、自作のトリオ「3つの小品」が、ドイツリートベルクの修道院にて演奏された。伴奏者としての信頼も得ており、これまでにヨゼフ・キス(デトモルト音大オーボエ教授)、イ・チョルウォン(延世大学トロンボーン教授)、キム・ウォンスン(トランペット奏者)、工藤すみれ(ニューヨークフィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者)、村上淳一郎(ケルン WDR 交響楽団首席ビオラ奏者)ら様々な音楽家と共演を重ねている。2016年9月、第6回 Sejong Dream Tree Korean Traditional Orchestra (韓国の伝統楽器によるオーケストラ) & Sejong Dream Tree Orchestra 合同コンサートにてオーケストラとピアノ一台用(オリジナルはピアノ2台)に編曲された「サンサーンスの動物の謝肉祭」を演奏。同年11月には、韓国の国立アジア文化殿堂より第1回 Anniversary Performing Arts-Festival in Gwangju に招待され若いピアニストたちへの指導、および韓国新進気鋭の作曲家キム・ウンへ、ハン・デソブ、イ・ムンソク等の四手連弾作品を披露。2019年「仲村渠悠子コンサートシリーズ Vol.1」をパレット市民劇場(沖縄)にて開催。同年12月、中国・長春にてリストピアノ協奏曲第一番を、吉林省東北師範大学オーケストラと共演。吉林省東北師範大学にて、即興演奏特別授業を行う。2021年2月、夫チョウ・ジャンフン氏(指揮者、作曲家)と共に「仲村渠悠子オーケストラプロジェクト～音のスケッチ～」を企画。オーケストラとピアノ用に編曲された自作品を収録。自作品、即興演奏を収録したCD「Spring Garden」、「To My Children」、「Lulu」がある。2022年3月、ショパン全曲演奏会 Vol.1「仲村渠悠子ピアノコンサート～ショパンとその愛弟子」開催(パレット市民劇場)。1992年度 PTNA ピアノコンペティション全国大会E級 銅賞・全日空賞・ソニー賞受賞。第5回おきでんシュガーコンクール新人演奏会優秀賞。第13回彩の国埼玉ピアノコンクール一般の部第1位・県知事

賞受賞。第10回日本国際室内楽コンクール第4位。ギリシャレシムノン ザイラー国際ピアノコンクール デイプロマ受賞。ドイツデトモルト音楽大学非常勤講師(2009-2010) ドイツデトモルト音楽大学講師(2010-2015) 日本バッハコンクール、ブルグミュラーコンクール、全日本ピアノコンクール審査員。2022年度(第57回) 沖縄タイムス選賞奨励賞受賞。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。一般社団法人日本音楽協会南日本支局副委員長。日本歌唱芸術協会理事。

仲村渠悠子公式ホームページ

<https://yukonakandakari.com/>

■ 豊田 喜代美 Kiyomi Toyoda ソプラノ



東京都出身。桐朋学園女子高等学校普通科卒業。桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業。ドイツ・ケルン音楽舞踏大学マスタークラス留学。国立法人北陸先端科学技術大学院大学博士前期・後期課程修了。博士(知識科学)。博士論文:クラシック音楽歌唱における知識創造モデル—スキルサイエンスからの接近)。教会音楽家ドイツ国家資格C取得(2019)。萩谷納,柴田睦陸,柴田喜代子,E.ボゼニウスに声楽を、ケルン・ミラノ・ローマ・ウィーン各地にて、ボイスコーチのJ.スターノ,S.バドディ,コレペティトアのF.フェッラーリス,S.ローチ,F.エーガーマン,H.フィールテル,W.フックスベルガーの許で研鑽。指揮者の小澤征爾,若杉弘,朝比奈隆,渡邊暁雄,秋山和慶,尾高忠明,高関健,大野和士,小林研一郎,岩城宏之,井上道義,沼尻竜,大友直人,佐藤功太郎,黒岩英臣,ホルスト・シュタイン,ロビン・オニール,ヘルベルト・ケーゲル,ズデニェク・コシュラー,ジェームズ・ロッホラン他の下、オペラ作品では主に東京二期会,日生オペラ劇場,東京オペラプロデュース,他の各公演に出演し、《フィガロの結婚》ケルビーノ・スザンナ、《ドン・ジョバンニ》ツェリーナ、《イドメネオ/秋山和慶》イリア、《コジ・ファン・トゥッテ

/飯守泰次郎・秋山和慶》デスピーナ・フィオルデリージ、《セヴィリアの理髪師》ロジーナ、《ペレアスとメリザンド/指揮:若杉弘・黒岩英臣》メリザンド、《こうもり/指揮:尾高忠明》ロザリンデ、《魔弾の射手/指揮:大友直人》アガーテ、《夕鶴/指揮:團伊玖磨》つう、《ヴォツェック/指揮:小澤征爾》マリー、《トスカ/指揮:高関健》、《蝶々夫人》、《ファルスタッフ/指揮:小澤征爾》ナンネッタ、《ホフマン物語/指揮:小澤征爾》ジュリエッタ・オリンピア・アントニア・ステッラ全4役、他、日本創作作品初演は間宮芳生作曲オペラ《夜長姫と耳男/夜長姫/水戸芸術館柿落し》夜長姫、池辺晋一郎作曲オラトリオ《呼び交わす山河/預源院/石川県立音楽堂柿落し》、モノオペラー柳慧作曲《火の遺言》、NHKオペラ《平泉炎上》かえで、他、20作品以上の主役を歌っている。オーケストラ作品では、新日本フィル、日本フィル、東京都交響楽団、東京交響楽団、NHK交響楽団、新星日響、シティフィル、大阪フィル、大阪センチュリー響、関西フィル、札幌交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団、オーケストラアンサンブル・金沢、名古屋フィル、北オランダ交響楽団、ニューヨーク・シラキウス交響楽団、他の定期演奏会に出演し、ベートーヴェン作曲《ミサ・ソレムニス》《交響曲第九番》、モーツァルト作曲《レクイエム》《モテット》他、J.S.バッハ作曲《マタイ受難曲》《ロ短調ミサ曲》他、ブルックナー作曲《ミサ曲》他、ヘンデル作曲《メサイア》他、ブラームス作曲《ドイツ・レクイエム》他、マーラー作曲《交響曲第二番》《交響曲第四番》《子供と角笛》《交響曲第八番/SopII/ルチア.ポップ、ベルンハルト・ヴァイクルと共演》、ブーレーズ作曲《プリスロンプリ》日本初演、ウエッバー作曲《レクイエム》、他のソリストを演奏。ドイツ在日大使館主催リサイタル(ボン,ラ・レドゥートゥにて)、米国在日大使館主催リサイタル(ワシントンD.C./コーコラン美術館ホールにて)、ニューヨーク・カーネギーホール(小)、ドイツ・ケルン日本文化会館などで、J.S.バッハ作曲カンタータ、モーツァルト作曲モテット、日本歌曲を演奏。CDは『N響90周年記念シリーズ/若杉弘指揮/ヘンデル・メサイア(モーツァルト編)』『新日本フィル/朝比奈隆/ニーベルングの指輪全曲』他、多くの演奏会ライヴ録音の他に、「木下牧子浪漫歌曲集」、「貴志康一日本歌曲」(オーケストラ版/都響都響定期演奏会ラ

イヴ)、「無伴奏による日本の唱歌」他。NHK ニューイヤーオペラコンサート、題名のない音楽会他のテレビ、NHK.FM 放送、百万人の音楽他のラジオ出演。

沖縄県立芸術大学教授 2010-2017。東京大学非常勤講師 2018.9-2022.3 (芸術創造連携研究機構の授業『楽器としての身体:声楽の実践と科学/目的:個々人の身体能力活性化および歌唱による芸術創造体験』を身体運動科学者・工藤和俊氏と共に担当し、"Arts-Based Method in Education Research in Japan" (Brill Publishers) の中の "Music-Based/Inspired Scientific Research and Liberal Arts Education" を工藤和俊氏と執筆した (2022年 2 月出版)。歌唱芸術の及ぼす人への作用の研究は継続している。 https://researchmap.jp/gratiamic1_11_4 第 11 回ジローオペラ賞受賞 (対象:セヴィラの理髪師/ロジーナ)。第 16 回サントリー音楽賞受賞 (対象:オペラ・ホフマン物語/全 4 役, コジ・ファン・トゥッテ/デスピーナ, オラトリオ・天地創造/ソプラノソロ, 毎日ゾリステン主催リサイタル)

<https://www.suntory.co.jp/sfa/music/prize/winner.html>

ウィーン・ハプスブルク宮廷芸術家友好協会、東京二期会、日本演奏連盟、日本声楽発声学会、グレゴリオ聖歌学会、各会員。日本歌唱芸術協会代表理事。本年 2023 年 6 月に CD 収録を行った。曲目は(1)貴志康一作曲の日本歌曲 (オーケストラ歌曲のピアノ版) 「赤いかんざし、かもめ、行脚僧、かごかき、天の原」。ピアニストは渡辺健二氏。(2)木下牧子 2018 年作曲のモノオペラ《暁の星》夏目漱石「夢十夜」より。ピアニストは仲村渠悠子氏。2024 年 3 月リリース予定。

豊田喜代美公式ホームページ

<https://mulierfortisgratia.com/>

[予定]オペラ *Mulier fortis* (勇敢な婦人・細川ガラシャ) コンチェルトンテ。11 月 17 日 19 時開演。旧東京音楽学校奏楽堂(重要文化財)。主催:オペラ *Mulier fortis* 公演実行委員会 後援:オーストリア在日大使館文化フォーラム,財団法人東京二期会,社団法人日本演奏連盟,日本歌唱芸術協会。協力:(株)プロコミュニケーション。問合せ:070-8996-7469 (MAE Co., Ltd.)

チケットぴあ:P コード 248250

■ 金城 理沙子 Risako Kinjo ソプラノ



沖縄県南風原町出身。沖縄県立開邦高校芸術科音楽コース在学中より声楽を学ぶ。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時、西銘順治賞を受賞。同大学院音楽芸術研究科声楽専修修了。第 46 回新報音楽コンクール声楽部門一般の部第 1 位および特賞を受賞。第 71 回日本学生音楽コンクール大学の部北九州大会第 2 位。第 20・25・28 回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選。第 26 回コンセール・マロニエ 21 声楽部門入選。平成 26・27 年度公益財団法人青山財団奨学生。2019 年 12 月に行われた第 43 回全国育樹祭にて国歌独唱。2021 年新宿文化センター大ホールにて行われた日本オペラ協会主催《キジムナー時を翔ける》マチー役にてオペラデビュー。これまでに声楽を坂名城律子, 豊田喜代美, 市原多朗, 五郎部俊朗の各氏に師事。

沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本歌唱芸術協会幹事。

■ 金城 真希 Maki Kinjo ソプラノ



沖縄県出身。沖縄県立開邦高等学校芸術科音楽コース、沖縄県立芸術大学声楽専攻卒業。同大学大学院修士課程修了。2003 年、おきでんシュガーホール新人オーディション入選。2003 年沖縄県立芸術大学オペラ公演『コシ・ファン・トゥッテ』にデスピーナ役で出演。同年、出身地本部町にてリサイタルを開催。

2004～2005年イタリアに渡り研鑽を積む。2006年、名護市『第九』公演でソリストを務める。2007年、名護市にてリサイタルを開催。同年、日本歌曲振興会(波の会)日本歌曲コンクール入選。2008年、那覇市にてリサイタルを開催。2014年、第6回東京国際声楽コンクール入選。2015年、オペラ愛島主催オペラ『椿姫』にヴィオレッタ役で出演。日本歌唱芸術協会会員。2019年まで沖縄県立芸術大学非常勤講師。現在、アルテ音楽教室講師。

■ 仲本 博貴 Hiroataka Nakamoto バリトン



沖縄県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学大学院声楽専修修了。ドイツ・国立ミュンヘン音楽・演劇大学大学院修了。これまでに、喜納健仁、ウーヴェ・ハイルマン、フリーダー・ラング、ローランド・ヘルマン、ニコラ・ロッシ・ジョルダノに師事。第75回、第81回、日本音楽コンクール声楽部門入選。第5回長久手オペラ声楽コンクール三位。琉球新報音楽コンクール一般の部一位。在独中、ミュンヘン・プリンツレゲンテン劇場、ニュルンベルク市立歌劇場にてグルック作曲のオペラ《メッカの巡礼》のヴェルティゴ役(指揮アレクサンダー・リープライヒ、演出ヴェラ・ネミローヴァ、ミュンヘン室内楽管弦楽団)等にオペラ出演した他、ドイツやスペインの教会やコンサートホールにて宗教曲のソリストを務めた。帰国後は、小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル松本(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)主催公演において、《ヘンゼルとグレーテル/ペーター役》他、三枝成彰作曲《KAMIKAZE-神風》等に出演。地元沖縄にて開催された沖縄国際音楽祭「第九 in 沖縄」では、バリトンのソリストとして、世界的ソプラノ歌手エヴァ・メイ、ディミトラ・テオドッシュと共演するなど、これまでに国内外にて数々のオペラ、オラトリオ、コンサートに出演している。2021年9月のリサイタルにて演奏したシューベルト作曲《白鳥の歌》(全曲/ピアノ:内海博子)が好評を博し、第55回・第56回沖縄

タイムス芸術選奨奨励賞を受賞。また、演奏活動の傍ら、合唱団「いーすたん」、女声合唱団「シャイニー」、合唱団「海音」、各合唱団の指揮者を務めながら、宗教曲やオペラ等のオーケストラ付き作品の合唱指導者としても活動している。

沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本声楽発声学会、日本歌唱芸術協会(代表理事)、各会員。

[予定]仲本博貴バリトンリサイタル。

10月28日(土)17時開演 パレット市民芸術劇場
仲本博貴バリトンリサイタル-ドイツ歌曲珠玉の作品
ピアニスト:内海博子 後援:日本歌唱芸術協会他

■ 西條 智之 Tomoyuki Saijyo バリトン



東京都生。埼玉県育ち。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学大学院声楽専修修了。同大学助手を経て、イタリアのクラウディオ・モンテヴェルディ音楽院へ留学。平田栄寿、小池哲央、市原多朗、五郎部俊朗、Ennio Capece、Paolo Coni、Antonio Camponogara、Markus De Prosperis に師事。チェゼーナ・ボンチ歌劇場『リゴレット』タイトルロールを務める(パオロ・コニー監修、アルフォンソ・アントニオツィ演出)。他に、『カルミナ・ブラーナ』バリトン・ソロ、『奥様女中』ウベルト役/ボルツァーノ市立劇場、『魔笛』パパゲーノ役/ヴェノーザ劇場、『ドン・ジョバンニ』レポレッロ役/ヴィラツァーノ劇場、『アトランティスの皇帝』タイトルロール(プッチーニ歌劇場)などイタリア各地の劇場に出演。県内では沖縄県立芸術大学開学20周年記念オペラ公演『ファルスタッフ』フォード役、浦添市創出事業琉球オペラ『アオリヤエ』尚寧王役、沖縄県立芸術大学音楽学部創立30周年記念第25回オーケストラ定期演奏会L.V.ベートーヴェン《交響曲第9番ニ短調作品125》バリトン・ソロ(指揮・尾高忠明)などを務める。第16回おきでんシュガーホール新人演奏会優秀賞。第6回ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門第3位(1位なし)及びオーディエンス賞ルーマニアラジオ文化局賞。第11回大阪国際音楽コンクール一般の部オペラコース第1位及び宇野収賞。第30回飯塚新人音楽コ

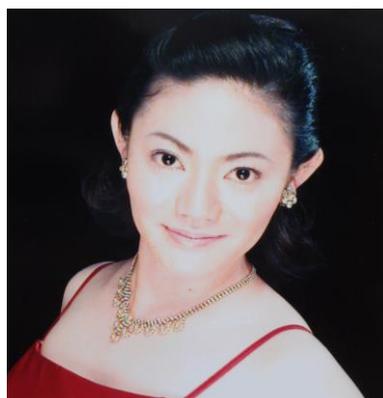
ンクール入選。第14回さくらびあ新人コンクール第1位さくらびあ大賞。第32回宝塚ベガ音楽コンクール入選。第3回“ジャンジャコモ・グエルフィ”国際声楽コンクール第1位。2013、2014年度宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家奨学生。日本歌唱芸術協会理事（副代表・事務局長）。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

■ 根神 夢野 Yumeno Negami ソプラノ



沖縄県うるま市出身沖縄県立芸術大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業、同大学研究科、大学院演奏芸術専攻声楽専修修了。姉妹校留学生としてドイツ国立ブレーメン芸術大学に留学。留学中、ブレーメン芸術大学の室内合唱団の一員として、ブレーメン各地の教会やドイツ・ヘルゴランド島への演奏ツアーに参加。また、“LAUDATE,CANTATE”合唱団の一員として、J.S.バッハ《ロ短調ミサ》では憧れのドロテー・ミールズと共演するなど、宗教曲や合唱音楽の研鑽を積んだ。ハンガリーのブダペストにてクリスティーナ・ラキによるマスタークラスを受講。これまでに沖縄県立芸術大学洋楽定期公演《カルミナブラーナ》のソプラノソロ、琉球交響楽団0歳児からのコンサート、《メサイア》演奏会(抜粋)等に出演。合唱指導者としての活動では、アンサンブルコンテスト中学校部門全国大会2回出場。全日本合唱コンクール中学校混声部門、全国大会出場へと導く。その様子を沖縄テレビ放送ニュース番組「OTVLIVE NEWS イット!」内の【ひらけ!未来への扉】にて、沖縄から27年ぶりの全国大会出場が特集された。現在、演奏会活動する傍ら合唱指導にも情熱を注いでいる。演奏、合唱指導共に「人と人とが繋がる演奏」をキャッチフレーズに、活動を続けている。NSCA-CPT,パーソナルトレーナーの資格を取得。日本歌唱芸術協会幹事。

■ 友利 あつ子 Atsuko Tomori ソプラノ



沖縄県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。在学中、大学オペラ公演ヨゼフ・ツィルヒ指揮《フィガロの結婚》バルバリーナ役で出演。第17回練馬文化センター新人オーディション優秀賞。練馬区新人オーディション受賞演奏会にて東京ニューシティ管弦楽団と共演（練馬区・練馬区文化振興協会主催）、練馬区役所アトリウムコンサート（練馬区主催）、郡司博指揮、「メサイア」（GMAグローバル・ミュージック・アソシエーション主催）、チャリティーコンサート（東京プロデュース主催）、友利あつ子ソプラノ・サロン・コンサート（NPOたけとよ・武豊町教育委員会主催、多治見市公共施設ネットワーク事業主催）、「新潟に花ひらく音楽家たち」（武蔵野音楽大学同窓会新潟県支部主催）、中央大学定期演奏会白石卓也指揮「ベートーベン作曲交響曲第九番」ソプラノソロ、「バッハ作曲ロ短調ミサ」ソプラノ1、「ハイドン作曲四季」ハンネ、（中央大学音楽研究会混声合唱団主催）、高山市民合唱団50周年記念演奏会白石卓也指揮「ベートーベン作曲交響曲第9番」ソプラノソロ（高山市民合唱団ひゅら）、「IIConcerto秋の夕べに」（Gruppo Nori主催）、「株式会社多良川創業70周年記念コンサート」（株式会社多良川主催）、「琉球交響楽団父の日ファミリーコンサート」（琉球交響楽団主催）、「シュガーホールガラコンサート2019」（南城市主催）、「春の音楽会～音楽で彩る春のひととき～」（琉球交響楽団）。「金井喜久子沖縄に想いを馳せて」千葉・浦安、沖縄にて開催（ミュージックライブ主催）オペラの舞台に於いては、創作委託作品・世界初演若杉弘指揮一柳慧作曲《光》声役（新国立劇場主催）、小崎雅弘指揮ビゼー作曲《カルメン》フランスキータ役（千葉県・財団法人千葉県文化振興財団主催）、三澤洋史指揮《こどものためのオペラ劇場スペ

ース・トゥーランドット》（新国立劇場主催）、ドニゼッティ作曲《愛の妙薬》アディーナ役（陽奏会主催）、ラルフ・ヴァイケルト指揮シュトラウス作曲《サロメ》奴隷役（新国立劇場主催）、ペーター・シュナイダー指揮ワーグナー作曲《ローエングリン》小姓役（新国立劇場主催）、大勝秀也指揮中村透作曲《あちやーあきぬ島》官女役（南城市文化のまちづくり事業実行委員会主催）、柴田真郁指揮ビゼー作曲《カルメン》フランスキータ役（沖縄オペラアカデミー主催）これまで声楽を平良勝、平良公子、中西八寿子、オブラスツォワ、田中淑恵、平田典之、田手道子の各氏に師事。2017年、エヴァ・メイマスタークラス受講。東京二期会会員。日本歌唱芸術協会理事。開邦中学校・高等学校音楽非常勤講師。

■ 喜屋武 いつみ Itsumi Kyan ソプラノ



石川県出身。沖縄県立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了。声楽を万行美幸氏、豊田喜代美氏に師事。同大学卒業時に卒業演奏会出演。同大学洋楽定期公演における W.A.モーツァルト作曲《フィガロの結婚》でスザンナ役として出演。琉球新報音楽コンクール入選。シュガーホール新人オーディション入選。2017年修士演奏は、ヘンデル作曲《メサイア》からソプラノの全アリア、および、J.S.バッハ作曲《結婚カンタータ》全曲。副論文研究は「G. F. ヘンデル《メサイア》のアフェクト表現について—ソプラノ・アリアを中心に—」。沖縄声楽発声研究会研修演奏会、日本歌唱芸術協会発足記念演奏会、日本歌唱芸術協会研修演奏会にて、木下牧子作品、池辺晋一郎作品、三善晃作品を演奏。日本歌唱芸術協会会員。現在、沖縄県の高等学校に教諭として勤務している。

日本歌唱芸術協会
年間定期活動

4月1日始まり-3月31日締め

- ・研修演奏会
講師を招聘
- ・例会
歌唱基礎学習
- ・歌の集い in 沖縄
研修成果発表会
- ・発足記念・定期公演
オペラ公演
- ・総会

『日本歌唱芸術協会』事務局
〒903-0815
沖縄県那覇市首里金城町 1-43
キャッスルマンション 502

Eメールアドレス
jsaa.okinawa@gmail.com

